

ケーブル技術スタッフの機器チェック!

日々開発されるケーブルテレビ関連機器を、技術スタッフが
 厳しい目でチェック! 実用性に焦点を当てて報告します。

No.
2

宅内工事施工用「複合型同軸ケーブル」

多摩ケーブルネットワーク(株) 技術部課長代理・安高徳仁

多摩ケーブルネットワークでは、3月より「KDDI ケーブルプラス電話」を開始するにあたり、ヘッドエンドの配線システムの改修や電話用の部材について調査・検討を行なってきました。その際に出会った優れた機器・部材を紹介します。

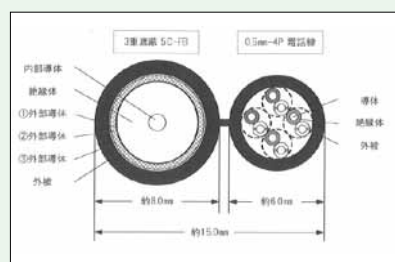
トヨクニ電線「複合型同軸ケーブル」

ケーブルプラス電話の宅内工事施工法を検討している中で、既設の電話線が使えない場合や行き先がわからない場合を想定して、EMTA までの同軸ケーブルと電話線が合体したケーブルについて調査していました。

「ファイバーオプティクス EXPO 2008」で光ファイバーと電話線が複合しているケーブルを展示していたトヨクニ電線を見つけ、「同軸ケーブル+電話線ができないだろうか」と依頼したところ、「サンプルを作成してみます」と回答してくれました。トヨクニ電線はケーブル同士をまとめる複合の技術を得意としており、いろいろなカスタム品にも対応してくれます。4.5C 同軸ケーブル+電話線について試作品を何度か

作成してもらい、曲げやヨリに強い宅内用の同軸+電話ケーブルができました(右下写真参照)。同軸ケーブル+電話線を単独配線してあれば、施工の配線単純化やNTTからのナンバーポータビリティにて移行する期間の時も、EMTA まで局線を持っていけるため、施工が簡単です。

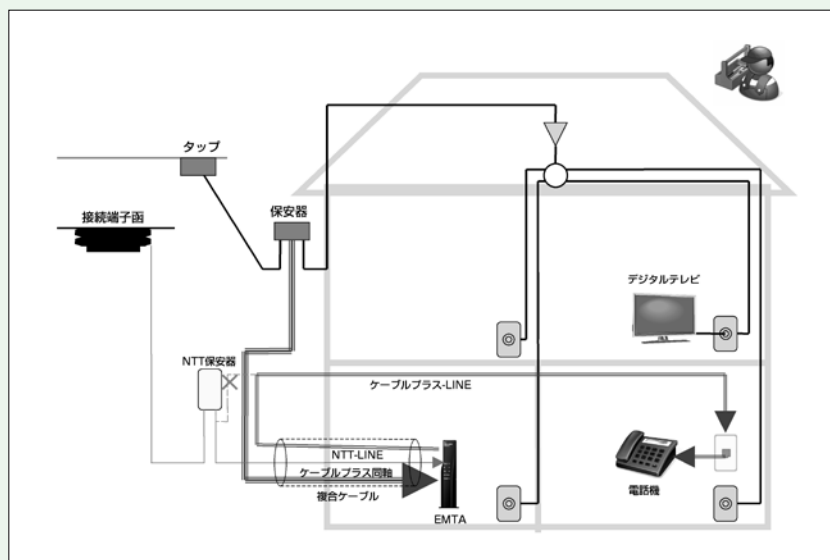
実際に現場でも、ドアホンがあり既存の電話線が使用できないケースや、NTTの保安器戻しの際にも利用できます。CATV 保安器とNTT 保安器の設置位置が離れていても、真ん中より簡単に引き裂くことができるため施工もずっとしやすくなりました。



複合ケーブルの構造



同軸ケーブル+電話線を合体させたトヨクニ電線の複合型同軸ケーブル



電話機配線・既設電話線が経路不明などで利用できない場合 — EMTA ~ NTT 保安器間に 4 芯電話線を新設する



真ん中より簡単に引き裂くことができるため、同軸ケーブルを EMTA へ、電話線をモジュラージャックへ